

2013 年 11 月 14 日

加盟協会事務局御中

一般財団法人日本ドッジボール協会  
全国大会実行委員長 城門 政文

2014 年度以降の夏・春小学生全国大会計画に関するご連絡

日頃より当協会事業にご理解ご協力頂きありがとうございます。

さて、長く続いておりました標記大会の開催に関わる重要な変更が二点ございます。

事業計画の進行状況に応じて詳細を改めてお知らせいたしますので、まずはご確認の程  
よろしくお願いいたします。

1、女子大会の分離開催

(年1回の開催)

(今迄: 春・夏のD-I 全国大会も  
年回にする)

1/18  
11/11:35  
日本協会に  
確認済

当初、女子選手の育成普及を計画するにあたり、大会経費や選手の移動負担軽減の観点からD1大会と同時期に開催する事がメリットになると考えておりました。しかしながら、結果として練習期間も重複するため、女子選手も活動量の多いD1チームのみを選択せざるを得ない状況が続いております。

そこで、女子選手・チームの普及方法を見直す一環として、2014 年度より全国大会の開催時期を分けることに致しました。現状のところ、秋(9月~10月)に東京都内での開催を検討しております。選出方法も、地域の普及状況を考慮した形を予定しておりますので詳細は決まり次第加盟団体宛てにご連絡いたします。

2、(春の大会) 規模・代表選出方法の見直し

9月末に実施したアンケートにご協力頂きありがとうございました。

このアンケートの直接的な趣旨は、2014年度の春の全国大会(東京体育館使用時期)前倒しのお知らせと、それに伴うブロック大会の取り扱いを再検討頂くことでした。また間接的には、この機会に地域に応じた余裕を持った大会スケジュールや経費負担の軽減を目指した枠組みの再構築を計れるのではないかという意図を持っていました。一部で決定済みの方針と解釈したとのご意見を頂きましたので、まずは説明が不足したことをお詫び致します。

さて、改めて頂いた回答を整理すると、ブロック大会またはブロック割りの検討よりも、夏大会のように各都道府県代表という考えに基づいた選出を重視することを望

む声が大きいことがわかりました。

そこで、2014年度以降の春の大会代表チーム選出について、次のように機関決定致しました。

・原則は各都道府県代表制と致します。(47チーム+1チーム)

・次のいずれかに該当し、都道府県協会が単独開催不可能と判断した場合は、当該各都道府県協会にて協議の上で合同開催を認めます。

- ① 参加予定チーム数が5未満
- ② 所属公認審判員数6未満
- ③ 会場確保が困難

もし希望されている予選開催案がございましたら、協議中で構いませんので事務局までご連絡をお願いいたします。

事務局 青木

※ 本文中のフタコウイン、及びコメントは、北信越ブロック事務局が日本協会(西潟)に確認の上記載したものです。

本本書は、'18(月)ブロック長より確認していただきました。

